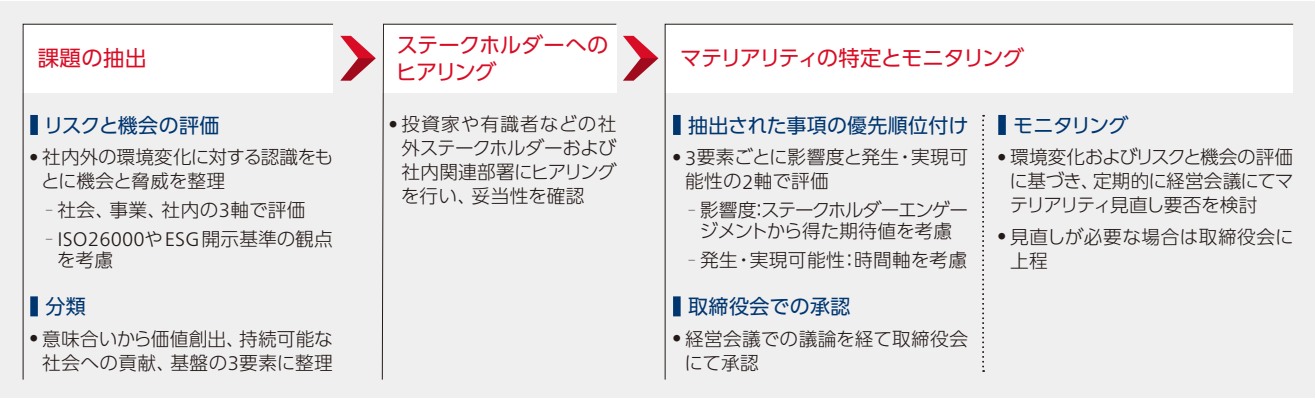


健康という価値を創る **2** SHIONOGIの重要課題（マテリアリティ）

SHIONOGIは、事業活動を通じて社会課題や医療ニーズに応えることで、社会に必要とされる企業として持続的に成長し、その成果をステークホルダーと共有することを目指しています。その実現に向けて、社内外の環境変化やリスクと機会、SHIONOGIの現状と課題を踏まえ、優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を特定しています。各マテリアリティには、KPIや指標を設定し、取り組みの進捗と成果を可視化することで、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを着実に推進しています。

マテリアリティ特定プロセス



マテリアリティ		指標	主な取り組み実績
顧客・社会に新たな価値を創出するために取り組む重要課題	感染症の脅威からの解放 ▶ P.12、33、42、46	- 薬剤耐性（AMR）をはじめとする感染症薬の適正使用の推進 - 感染症治療薬の成長／売上高 - 感染症トータルケアプラットフォームの実現／ワクチンのグローバル展開と売上高 - 今後のパンデミックに備えるべき重点感染症^{※1}への取り組み	- 感染症薬の売上：834億円（国内） ● 感染症治療薬のパイプライン：20品目 - 感染症予防ワクチンのパイプライン：6品目 - 南アフリカ・ケニア・インド・ブラジルの関係機構と連携し、適正使用・アクセス改善・関連研究に関するワークショップを開催
	健やかで豊かな人生への貢献 ▶ P.40	- QOL疾患治療薬の成長／売上高 - QOL疾患トータルケアプラットフォームの実現／DTxの医療への浸透 - 子ども・保護者・就労者への適切な情報と支援の提供	- QOL疾患関連の売上^{※2}：413億円（国内） ● QOL疾患治療薬のパイプライン：26品目 - 就労者のメンタルヘルス支援のためのセミナー開催地：20都県
	イノベーションの創出 ▶ P.12、33	- 技術・イノベーションの創出／社会実装 - 新たにPhase2/3に移行した品目数 - Phase2/3の品目数 - 医薬品以外のソリューションの創出	パイプライン数：46品目 ● 医薬品、ワクチン以外のヘルスケアソリューション：7件
	医療アクセスの向上 ▶ P.56	- LICs／LMICsへの製品・サービスの提供 - 医療へのアクセス改善に向けた地域基盤・情報提供の強化 - 未承認国における医薬品アクセスの確保	- MPPとの提携を通じたエンシトレルビルの提供可能国：117カ国 - GARDP、CHAIとの提携を通じたセフィデロコルの提供可能国数：135カ国 - WHO必須医薬品リストへの掲載 - ヴィーブ社によるドルテグラビル、カボテグラビルの提供国数：140カ国以上 - Mother to Mother SHIONOGI Projectにおいて医療サービスを受けたのべ人数：246,405人（2015年10月～2024年5月）

※1 公衆衛生危機管理において、救命、流行の抑制、社会活動の維持等、危機への医療的な対抗手段となる重要性の高い医薬品や医療機器等（MCM）の利用可能性を確保することが必要な感染症

※2 国内医療用医薬品売上のうち、感染症薬の売上を除いた金額

健康という価値を創る 2 SHIONOGIの重要課題（マテリアリティ）

マテリアリティ		指標	主な取り組み実績
持続可能な社会へ貢献するために 取り組む重要課題	責任ある製品・サービスの提供 ▶ P.43	- 品質課題を起因とした顧客不利益の回避 - 連続生産技術の複数製品への展開 / DX化による高品質・安定供給の実現 - 製品・サービスによる重大な健康被害ゼロ	- Quality Cultureの醸成活動などの推進 - 製造所監査などを通じた管理監督活動 - グローバルで統一した安全性情報管理システムの運用
	サプライチェーンマネジメントの強化 ▶ P.43	- 製品の欠品ゼロに向けた仕組みづくり - 継続的な重要サプライヤー評価と対話	- EcoVadisによるアセスメントを行った会社数：累計150社 - サプライヤーおよび製品製造所のマルチソース化 - 安定供給に向けたサプライヤーとの連携体制の構築 - 直接材重要サプライヤーの行動規範*への同意割合：97%
	人権の尊重 ▶ P.62	人権デューディリジェンスの継続実施	- 現代奴隷法に基づく声明文の表明 - 人権インパクトアセスメントの実施 - バリューチェーン上の潜在的な人権課題に関するワークショップの実施
	環境への配慮 ▶ P.59、80	「SHIONOGIグループEHS行動目標」（環境）の達成	- 温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ1・2：マーケットベース）：63,057t-CO₂ - 総エネルギー消費量：332,865MWh - 再生可能エネルギー由来電力の使用率：55.8%
経営基盤を強化するために 取り組む重要課題	成長を支える人材の育成・確保 ▶ P.26、80	- 競争力のある多様な人材の確保 - グローバル人材の育成 - マネジメント人材の多様化 「SHIONOGIグループEHS行動目標」（安全衛生）の達成 - 健康経営目標の達成	1人当たりの教育研修費：9.8万円 - 自己投資支援制度利用者率：55.0% - 女性マネジャー比率：16.4% - 度数率：0.13 - 健康診断受診率：100% - 喫煙率：3.0%
	コンプライアンスの遵守 ▶ P.76	コンプライアンス活動およびプロモーション活動のモニタリング	- グローバルで統一された「SHIONOGI グループ コード・オブ・コンダクト」の制定 - Global Compliance & Quality Weekの実施
	ガバナンスの強化 ▶ P.65	取締役会の実効性評価の実施と継続的な改善施策の実施	- 監査等委員会設置会社への移行 - 指名諮問委員会での社長のパフォーマンスレビューの実施 - 株主・投資家と社外取締役との対話の実施

※「SHIONOGI グループビジネスパートナーに求める行動規範」